

ライオンズクラブの主な活動

献血推進活動

国内で献血が本格化した1960年代半ばから積極的に献血の推進に取り組み、輸血用血液の確保に大きく貢献を続けています。1989年には、日本赤十字社が創設した第1回献血推進賞を受賞しました。

アイバンク登録の推進

ライオンズクラブは視覚障害者福祉や視力保護の活動に重点を置いています。現在全国にある54のアイバンクの多くは、各地のライオンズによって設立され、運営においても中心的役割を担っています。

視力ファースト

世界中から予防可能あるいは回復可能な失明をなくすことを目的に、主に発展途上国で活動を展開。この20年間で3,000万人以上の視力を保護または回復させる成果を収めました。



ライオンズクエスト・プログラム

青少年が日々経験する困難を建設的に解決し、よりよく生きる力を学ぶ教育プログラムを提供。日本ではこれまでに5,000人を超える教育関係者が研修を受け、小・中・高校の授業に取り入れています。

災害救援

国内外の大規模災害に際し、ライオンズクラブはその組織力を生かして被災者救援や復興支援を行っています。

詳しい活動内容についてはこちらへ

<http://www.lionsclubs.org/JA/>

<https://www.thelion-mag.jp/>

ライオンズクラブの歴史

1917年

アメリカの実業家メルビン・ジョーンズが、**他者への奉仕を目的としてライオンズクラブ国際協会を創立**。その理念は多くの人の心をとらえ、世界各国にクラブが結成されていきました。



創始者メルビン・ジョーンズ

1945年

ライオンズクラブ国際協会は、サンフランシスコで開かれた**国際連合結成会議において主導的な役目**を果たしました。47年以来、国際経済社会理事会の民間諮問機関として活躍しています。

1952年

日本では、戦後**1952年3月にライオンズクラブが誕生**。その後、わずかの年月のうちに多数のクラブと会員を集め、現在では世界第3位のライオンズ国となっています。

1990年

世界中から予防可能あるいは回復可能な失明を根絶するためのプロジェクト「**視力ファースト・プログラム**」を開始。

2007年

ライオンズクラブは、イギリスの経済紙「フィナンシャル・タイムズ」が国連グローバル・コンパクトと協力して実施した**NGOの格付けで最高位**を獲得。

制作:ライオン誌日本語版委員会



NGO世界第1位

ライオンズクラブ

奉仕と友愛の心で結ばれた仲間



ライオンズクラブ国際協会
Lions Clubs International

ライオンズクラブ

We Serve

われわれは奉仕する



ライオンズクラブは、世界約200か国、130万人、日本では11万人を超える会員で構成されている、世界最大の奉仕団体です。「ウィ・サーブ(われわれは奉仕する)」をモットーとして掲げ、世界の国々でさまざまな奉仕活動に取り組んでいます。

「社会の役に立ちたいが、何から始めればいいだろうか?」とお考えの方にとって、ライオンズクラブへの参加は最良の選択肢となります。

ライオンズクラブの一員となることで、社会に貢献しながら、自分の人生をより豊かに変えることができます。



仲間と手を取りあい、奉仕のネットワークを世界へ。

Activities

困っている人の力になれる

青少年の育成や、高齢者・障害者への支援活動、植樹など環境保護活動……。あなたの時間と能力を奉仕活動に生かすことができます。



新潟県中越地震における物資救援活動

Friendship

友情で結ばれた仲間を増やせる

さまざまな奉仕活動やクラブ行事を通じて、職業や年齢の違いを超えた多くの仲間と、厚い友情を育むことができます。



職種や年齢を超えた友情で結ばれた会員たち

International

世界に広がる組織の一員になれる

ライオンズクラブは国際的なネットワークです。国境を越えた奉仕活動や、会員同士の交流を経験することができます。



年に一度、世界各国の会員が集う国際大会

Ability

自分の中の能力を伸ばせる

リーダーシップを磨くトレーニングへの参加や、大勢を前にしたスピーチ実践などを通じて、ビジネスの現場でも役立つスキルが身に付きます。



指導力を育成するセミナー